

こころにのこる音楽をみんなで・・・

# 京都音楽センター NEWS

●発行

(株)京都音楽センター

〒604-8481 京都市中京区  
西ノ京冷泉町 118-3

Tel. 075-822-3437

Fax. 075-822-3439

## 名もない人々の行動...

時田 裕二

四月二十日、第一回春の京橋踊り祭。関西から世界へ平和を祈るよさこい踊り祭Ⅱが、京橋駅前広場で開かれました。

開催のきっかけは、関西の踊りチームが年末に行われたイベントの打ち上げで集まったことです。京都・姫路・丹波篠山で活動する三チームが中心となり打ち上げが進められました。その中で、「今イラクでは、自分たちと同世代の子どもが銃を持って戦争に参加させられている。本当は戦争なんかイヤなはず。平和が一番に決まっています。単に楽しく踊るだけでなく、平和のために自分たちができる事は無いだろうか」という話が出たのです。

踊りに参加しているのはほとんどが中学生・高校生たちです。その彼や彼女たちが自分たちにできることⅡ社会に働きかけることⅡを求めての行動でした。

参加者全員の賛同の中、「踊

りで平和を訴えよう」「微力だけど自分たちができることを今こそ」と話は進み、わずか二十日後の開催を決めてこの日は解散。さっそく、若者たちを中心に準備にかかりました。それからの準備はさまざまいものでした。会場の確保・参加チームの募集・進行案の作成・当日の運営体制の確立などなどフル回転でした。その結果、関西だけでなく岐阜・三重からも参加があり、合計三十一チームが短期間の呼びかけにこたえてくれたのでした。

当日は、雨の中での取り組みとなりましたが、四百名を超える踊り手と、常時三百名を超える観客が、六時間にわたる祭りを盛り上げてくれました。

今回の祭りが、平和に対して何か有効な働きかけになったのかどうかはわかりません。しかし、何かせずにはいられなかった若者たちの純粋な気持ちは、とても大切な物

だと思っています。

私は、名もない人々がほんの少し、本当に少しだけ他人の幸せを願って何か行動する、そんなささやかな気持ちと行動が、やがて社会を動かして行く力になるのだと信じています。

そういう地道な活動を、仕事として続けている人々を私たちはたくさん知っていますが、その一人、自称売れない歌手(といっても有名です)の梅原司平さんがNHKのラジオ深夜便「こころの時代」に出演し反響が広がっています。

ラジオを聴いた方もいらつしやると思いますが、梅原さんの語っているのは、いつも自分自身の事ではなく、梅原さんが出会ったステキな人の事です。誰もが見過ごしてしまいがちな、名もない人々のささやかな行動に光を当て、それを励まし、人々を行動にさそいます。

梅原さんの歌や語りがステキなのは、いつも彼が一人の

英雄の物語を語り歌うのではなく、無名の(そしてそれはあなただったかもしれない)という物語を歌い、語るからではないかと思えます。

そんな梅原司平さんのコンサートを京都音楽センターでは「梅原司平メッセージ」として、毎年開いていきたいと考えています。

今年、七月二十五日(金)です。テーマは「命と平和を歌う」です。どんな人にもひとつずつしかない「命」。そのかけがえのない「命」と、「命」を守るために大切な平和について、京都音楽センターの思い・願いを梅原司平さんの歌と語りを通してお届けしようと思えます。

今回は、全席指定です。夏休みの取り組みのため、親子でおこしただけよう、「親ペア券」(片方もしくは両方が高校生以下なら少し安くなります)をご用意しました。座席に限りがありますのでお早めにお申し込み下さい。

●会場Ⅱ京都府立文化芸術会館  
●指定席券Ⅱ四千元・親子ペア券Ⅱ七千元  
●開演Ⅱ午後七時  
●ピアノ伴奏Ⅱ金井信さん

# コンサート 講習会 おすすめ情報

お申し込みは  
京都音楽センターへ  
TEL. 075-822-3437

## 梅原司平メッセージ1 命と平和を歌う

日時：2003年7月25日（金） 18:30 開場 / 19:00 開演  
会場：京都府立文化芸術会館・ホール（京都府立医大病院前）  
入場料：全席指定4000円（親子ペア券は7000円・いずれかが高校生以下ならOK）  
内容：京都音楽センターが夏休みにお届けする「梅原司平・平和コンサート」  
親子で来ていただけるよう、ペア券をご用意しました。

## 太鼓とギターのミックスマグザル 生笛添え

日時：2003年7月2日（水） 19:00 開演  
会場：京都府民ホールアルティ（京都市営地下鉄「今出川」駅下車徒歩南へ約5分）  
入場料：一般3800円・中学生以下2500円（当日券はいずれも500円増）  
内容：ギタリスト＝坂元昭二さんと、太鼓奏者＝中条きのこのジョイントライブ。  
坂元昭二さんは、さだまさしさんのツアーやレコーディングに参加してきたギタリストで、北の国からの演奏も彼の演奏です。

## 二本松はじめさんを迎えて…

日時：2003年5月25日（日） Aコース 10:30～12:00 Bコース 13:30～16:00  
会場：京都府婦人教育会館 大研修室（長岡京市長法寺谷山）  
内容：Aコース＝二本松さんを迎えて、親子であそぶ企画です。もちろん大人のみでもOK  
Bコース＝つながりあそびうたとダンスの講習会です。  
参加協力金：Aコース＝親子で1500円（大人のみは1000円）  
Bコース＝親子で3000円（大人のみは2500円）  
（A・B通して参加の場合は親子で3500円・大人のみは3000円）

### 京都音楽センター ピアノサービス部門

### ■ピアノフォーラム 吉田光男（社団法人日本調律師協会会員）

・ピアノ調律・修理・販売・音楽教室 TEL075-811-8634 FAX075-822-3439  
・E-mail/stimmer@mbox.kyoto-inet.or.jp

五月三日が私の誕生日  
だと以前に書いた記憶があるが、今年の誕生日は南アルプスで過ごした。翌日登る甲斐駒ヶ岳をめざし仙水小屋のキャンプ地で雪上テント泊をしてみたからだ。昨年の誕生日も中央アルプスの空木岳をめざし、池山避難小屋で過ごした。おとしの夏頃から山岳会に入会したことで、五月の連休は山登りで過ごす羽目になった。我ながら不思議だと思ふ。

山岳会に入る前は、アルプスなどの高所登山をする人は特別の人だと思っていた。若い頃から山岳部などで経験を積んだ人が登れるのであって、中高年から始めたのでは危険だと思っていた。毎年ニュースになる遭難事故も登山は恐ろしいとの印象を与える。それが今や無雪期の夏や秋といわず春の雪山や厳冬の雪山でも登っている。何でこうなったのだろうか。自分に苦笑したりする。

私の入会した山岳会は日本勤労者山岳連盟に属する会だが、労山のスロ一ガンに「自分の命は自分で守る、仲間の命はみんなを守る」というのがある。山の事故は自己責任だが、同時に同行するメンバーは運命共同体との認識を持ち合わせている。この徹底した精神のもと指導や訓練によって安全登山で過ごしている事に感謝する次第です。



（126）



太鼓新歌舞伎「阿國・わらう」の準備が始まりました。そもそもこの「阿國・わらう」は、狂言回しの進行に、打楽器(和太鼓・木魚・鉦など)・笛(篠笛・竜笛)・尺八・胡弓・箏・琵琶の演奏に、踊りが加わる芝居仕立ての新しい歌舞伎です。(と私は理解しています)

全く新しい舞台芸術のため、当然演奏する曲も新曲ばかりとなります。先日、その曲が(十三曲だったと思う…)すべてスコアになって仕上がってきました。そのスコアをもとに、各自それぞれが練習を行い、全員そろっての初めての合同練習を行うことになりました。せつかくなので簡単な録音をしようと言ったことになり、山の上にある太鼓道場に出かけました。私たちももちろん初めて

聴く曲ばかりです。演奏者も合わせるのは初めてで、それぞれの音を確認しながら全曲を通すという作業になりました。

二日間かかった練習でしたが、立ち会ったプロデューサー・演出家・音楽監督等々それぞれが、曲のできばえに感心し、十二月の本番に向けて自信を持ちました。

いよいよこれから本格的な準備が始まります。ステージでスポットライトを浴びない、私たち裏方もこれからが大変です。

音楽をもとにダンスが作られることになるでしょう。衣裳も新しいものが作られるでしょう。舞台美術も、これまでの舞台になかったような工夫がなされることになりそうです。

PAマンとしては、「あの会場の、どこにスピーカーを置いたらよいのか」、「移動しながら演奏するというウワサがあるけど、マイクはどうするのだらうか。」など解決しないとダメなことが山のようにあります。さらに、会場の「祇園甲

部歌舞練場」は、今では数少なくなくなった木造の会館です。和太鼓の大きな音が、近所に迷惑をかけないように防音の工事も必要になると思います。

まさに初めてづくしの経験ですが、力を合わせてがんばりたいと思いますので協力して下さいね。(ななど、いつになくまじめな原稿になってしまった)

ところで、とりあえずということ録音した音は、どうなつたでしょう？

実際に録音したのは二日目の演奏でした。すべての楽器にマイクをつけたわけでもなく、音をヘッドフォンで確かめながら録音するものの、和太鼓などの生音の方がどうしても大きいため、結果バランスの悪い音になりました。(予想通りという声の方々が聞こえています)

まあ、それでもどんな曲かはわかるという訳で、必要な部分をつなぎ合わせて聞ける状態にしました。なんと、演奏だけで九十分近くになる大作。演奏者の皆さんお疲れ様でした。

## 松井誠 奮闘公演全国ツアー

NHK「二人のビックショー」。小堺一機の「ごきげんよう」。水戸黄門。科捜研の女などテレビでもすっかりおなじみになった、松井誠の全国ツアー。

京都・滋賀はもちろん関西の公演は、京都音楽センターが窓口です。

公演日	開演時間	会場	前売り料金
6月21日(土)	14:00～	泉の森ホール	
6月22日(日)	14:00～	神戸朝日ホール	6000円
6月23日(月)	11:00～/15:30～		
6月24日(火)	14:00～	ひこね市文化プラザ	6000円
6月25日(水)	14:00～/18:30～	豊中ローズ文化ホール	6000円
6月26日(木)	11:00～/15:30～		
6月27日(金)	14:00～/18:30～	京都府立文化芸術会館	6000円
6月28日(土)	11:00～/15:00～		
6月29日(日)	11:00～		

内容：第1部＝お芝居 お江戸みやげ  
第2部＝誠版レビュー

出演＝松井誠・谷崎弘一  
和田幾子・松井紀美江  
ひかる一平・あご勇

お申し込み・お問い合わせは、京都音楽センターへ (TEL.075-822-3437)

## 京都音楽センター 出版案内

ご注文は、お電話 (Tel. 075-822-3437・Fax075-822-3439) かお葉書で、  
ホームページ (<http://www.wawawa.ne.jp>) からも注文できます。  
お振り込みは郵便振替 [01000-3-23000・京都音楽センター] へ

# 阿国・わらう制作協力券発売中(5月末まで)

出雲の阿国が歌舞伎を始めてから 400 年の記念すべき今年に、太鼓新歌舞伎「阿国・わらう」を上演します。ミュージカルでもない、コンサートでもありません。

太鼓・笛・踊りに加え、狂言語りで話が進められる「太鼓新歌舞伎」です。

誰も見たことも、上演したこともない、新しい舞台芸術「阿国・わらう」に是非お越し下さい。

今なら、一般前売り指定席券 (8500 円) よりお得な制作協力券がお求めいただけます。

この制作協力券は、指定席券 2 枚と交換できる券で 12000 円です。(5000 円お得)

公演日：2003 年 12 月 11 日～ 28 日

(月曜日を除く)

会場：祇園甲部歌舞練場 (京都)

開演時間：平日 ① 11:30～

② 16:00～

土日祝 ① 12:00～

② 16:00～

ただし、11 日は 16:00～のみ

28 日は 13:00～のみ

チケット発売は 6 月 2 日～ (事務局のみ)  
一般プレイガイドでは 7 月以降となります  
今なら、制作協力券が絶対お得 !!

### 主な出演者

丸石やすし (狂言役者)  
中条きのこ (和太鼓奏者)  
風流打楽“祭衆” (和太鼓チーム)  
川原崎能弘  
中嶋 真  
山内利一  
新井優三菜  
黒田展代  
中林利恵 (笛奏者)  
松尾慧 (笛奏者)  
中尾和子 (舞踊)  
尺八三本会“風童”(尺八奏者)  
米村鈴笠  
岡田道明  
石川利光  
片山旭星 (筑前琵琶師)  
菊央雄司 (胡弓奏者・箏)

「阿国・わらう」あらずじ紹介  
昔 阿国がいた  
生きた 愛した 踊った  
歌声と太鼓のひびきが、400 年前に観客をみちびき、あの世から登場した北野天満宮松梅院の院主・禅昌が、阿国を紹介する。「爛漫の都の春の花々が、色あせてみえるほどの女子でございませう」  
禅昌の語る、阿国の謎の数々。  
呼ばれて出てくる阿国は、あろうことか 3 人いた。  
「国でございませう」「私が阿国よ」「いいえ、阿国は私です」  
太鼓の阿国、笛の阿国、舞の阿国がくりひろげる、阿国が創った舞台の数々  
『ややくおどり』……『念仏おどり』……そして、  
慶長 8 年 (西暦 1603 年)、『かぶきおどり』で新しい時代を拓いた。  
異装の「傾き者 (かぶきもの)」を登場させ、  
踊りと物真似狂言を融合させた新しい演劇  
しかし、すでに「傾き者」を取り締まる時代がやってきていた。  
「傾き者のどこが悪い、はみだしものや荒くれものが、世の中造ってきたんやないか」  
一世を風靡した阿国は、一転、ついに追われる身となる。  
太鼓と尺八で描く、阿国、その生涯 生…… 愛…… 芸……  
夫・三九郎の語る、晩年の阿国。出雲の里で連歌三昧にふけていたとか。  
阿国の時代は終わった。  
しかし、阿国の創った「歌舞伎」は、400 年後の今日、なお生き続けている。



## With You

【収録曲】カフェ・ド・パリ／タラのテーマ～「風と共に去りぬ」より～／大きな古時計／Everything／さとうきび畑／花～涙そうそう／パリは燃えているか／瑠璃色の地球／黄昏のワルツ／秋桜／翼／ニュー・シネマ・パラダイス／愛を奏でて～「海の上のピアニスト」より～／アメイジング・グレイス／あの日から－2001.9.11－／イマジン／ハイ・ジュード／好きにならずにいられない

CD 定価 3000 円 (税込み) (送料 200 円)